

「大阪北区ジシン本 防災講座」の中でジオラマ模型を使った防災教育出前講座を実施しました！

今回の講座は、無印良品グランフロント大阪での「いつものもしもキャラバン」に参加した際、北区ジシン本ご担当者様からのお声かけで参加させていただくことになったものです。

今回の防災講座のテーマは「大災害時の備えと心構え」でした。大地震や大型台風が北区を襲った時どのようなことが起こるのか。ジオラマ模型を使った水害の再現や、防災クイズを通じて、参加者の皆さんに防災について学んでいただきました。

防災講座の参加者は、大阪市北区在住勤の方はもちろん、近隣区にお住まいの方々も含めて30名強の方々にお集まりいただきました。大阪市北区を本社としているニュージェックにとっては、地域を同じくする身近な方々です。もしも…、の時には「一緒に行動する仲間」になるのかも、との想像が膨らみました。

模型での水害再現では、街が水に流される様に、模型であっても参加者のみなさまには思うところがあったのでしょうか、質問が活発に飛び交っていました。私たちの専門である土木的な知識を活かした分かりやすい説明で、よく理解していただけたのではないかと思います。



ジオラマ模型を用いた水害の再現



防災クイズや水害写真での解説

いつもは子供たちへの防災教育をメインにしている私たちですが、今回は大人の方たちからの素朴で具体的な質問を受け一瞬返答に詰まったところ、すらすらと答える北区役所 地域課の方、お見事でした。私たちも一緒に勉強させていただきました。

また、会場では手話通訳や音声字幕を用いて耳が不自由な方への工夫がなされ、開催環境についても学ぶことが多かった講座となりました。体験後のアンケートで感想をいただきましたので、一部ご紹介します！

- 「なぜ水害が危険かが、模型を通してよくわかった」
- 「普通の家は津波などで流されていたけれど、津波避難ビルなどの堅牢で高層の建物は流されていなかったの、ちゃんと水害からの避難場所の確認をしないといけないと感じました。」

感想を読んで★★いざという時のために、ご自身やご家族を守れるように準備を考えるお手伝いのできたのではないかと思います☆彡